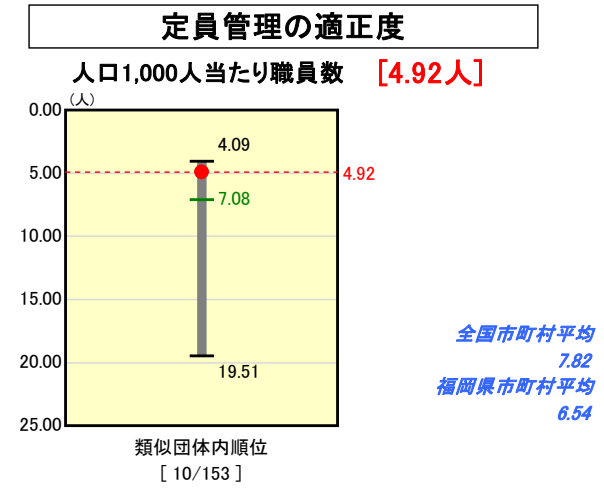
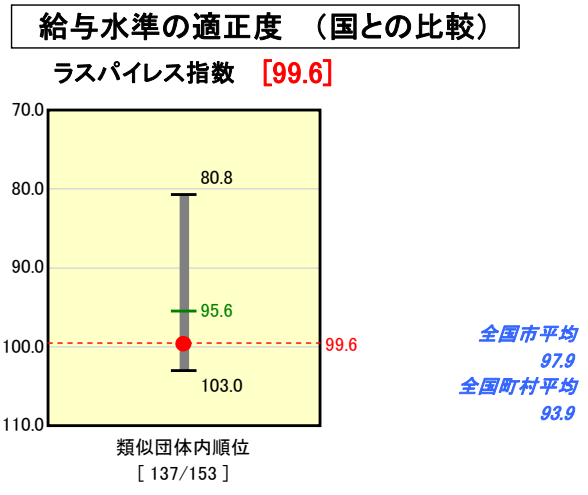
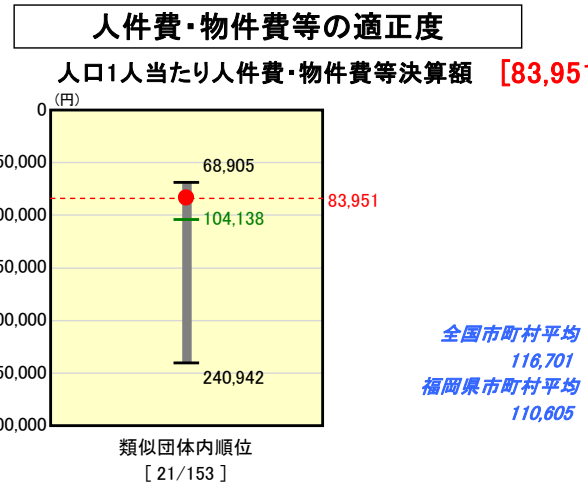
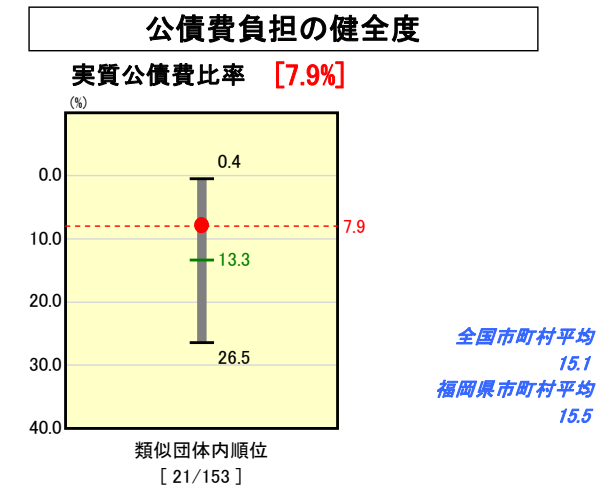
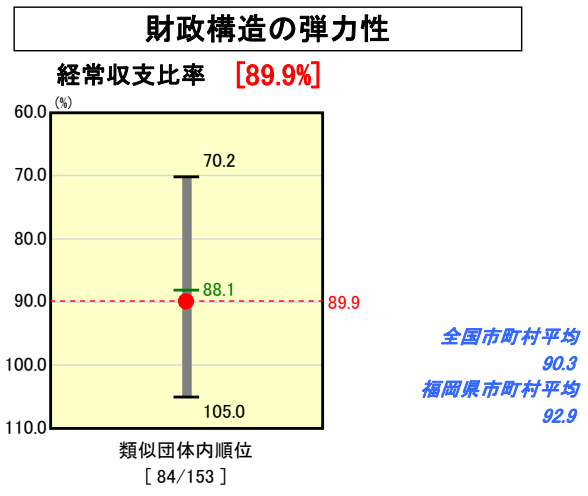
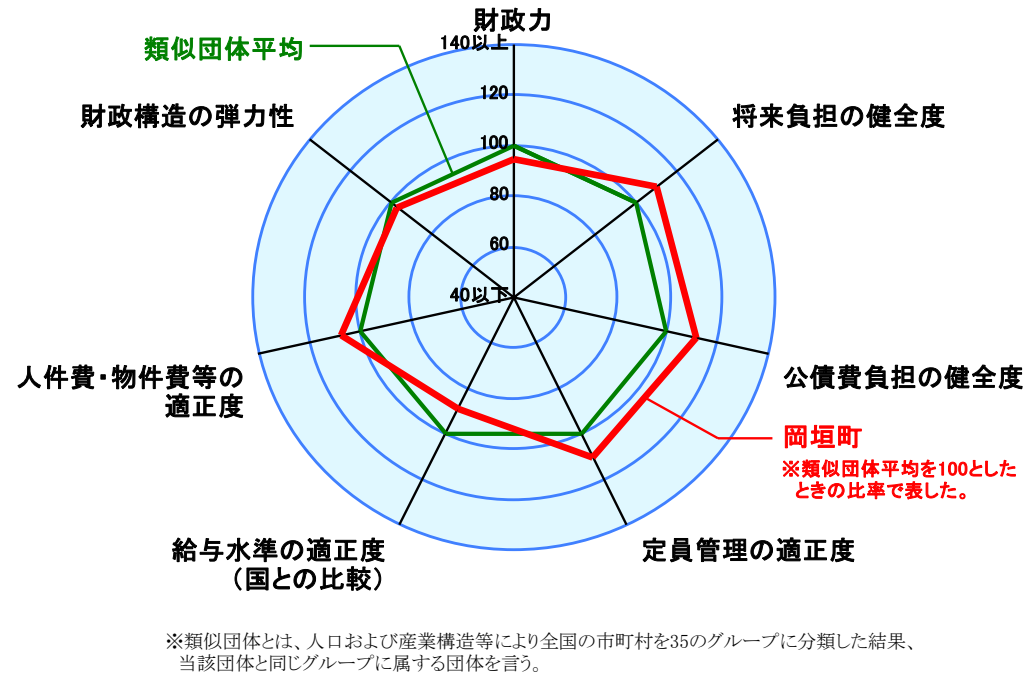
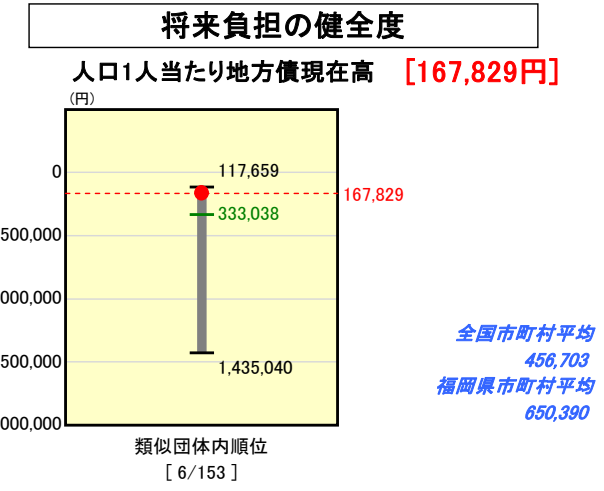
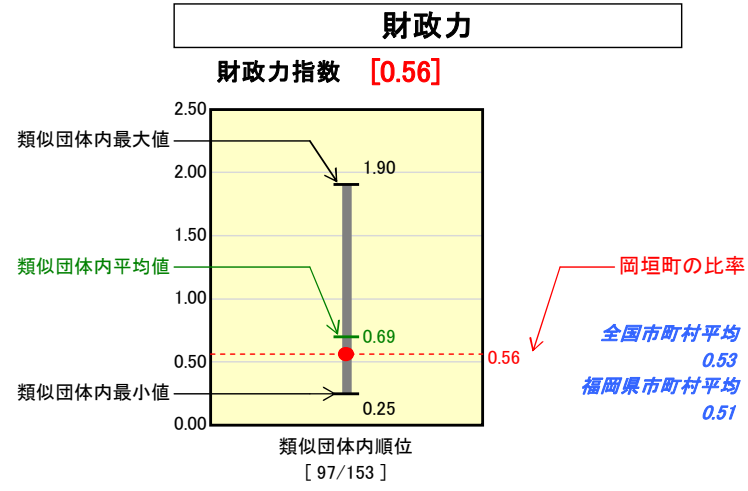


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 岡垣町

人口	32,141 人(H19.3.31現在)
面積	48.51 km ²
歳入総額	7,855,067 千円
歳出総額	7,480,005 千円
実質収支	353,062 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
町の歳入の根幹となる町税は、税制改正及び固定資産税の評価替え等により減額となったが、税源移譲の経過措置としての所得譲与税の大幅な増加により、指数は向上している。しかしながら、類似団体平均値を下回る脆弱な財政基盤のため、企業誘致或いは収納体制の強化による収収の向上・確保策で指数の改善を目指す。

○経常収支比率
町税及び地方交付税などの歳入の経常一般財源の減額及び下水道事業への繰出基準の見直しにより指数は大幅に悪化した(対前年度比6.8ポイント上昇)。今後は、事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業については計画的に廃止・縮小を進めるなど経常経費の節減を図り、より柔軟な財政運営を目指す。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費は、行財政構造プログラムに基づく、諸手当の見直しと職員定数の減により大幅な削減を図っている。物件費は、指定管理者制度の導入により補助費等相当分を委託料へ移項したため前年度決算額を上回ったが、これら増加分を除くと物件費は減少している。今後は、枠配分予算方式の取り組み等により経常経費の一層の削減を図る。

○人口1人当たり地方債現在高
大型公共施設建設に係る元利償還金は、平成14年度にピークを迎えたため、近年の償還額は減少傾向にある。よって類似団体との比較においても良好な指数を示す。今後においても、適正な地方債管理と後年度負担を視野に入れた地方債の発行に努める。

○実質公債費比率
公債費負担の健全度は比較的良好である。今後においても、事業の必要性・有効性を鑑み計画的な事業展開を図るとともに、後年度財政措置のある起債のみの発行や、基金の活用による起債発行額の抑制など更なる指数向上に努める。

○ラスパイレース指数
類似団体平均より高いが、平成18年度から初任給基準を国家公務員に準拠するとともに、職務・職責に応じた昇給制度に改めており、適正な給与体系への転換を図っている。今後も、職員定数の削減と併せてより一層の人件費縮減に努める。

○人口1,000人当たり職員数
かねてから給食調理業務の民間委託や指定管理者の導入を推進してきており、類似団体に比較して少ない職員数となっているが、今後も定員適正化計画(退職者数に関らず新規採用職員を毎年度2名とする)に基づき職員定数の削減を図る。